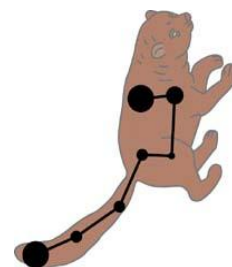


ポラリス通信



第64号 令和8年7月17日

萱田南小学校 5年生 家庭科支援にご尽力！

6月17日(水) 萱田南小学校において、今年度も5年生家庭科のソーイングに、萱田ポラリスのお助け隊が来てくださいました。『意外と知らない、できない人も多いのでは?』という玉結びと玉止めを中心に、縫物の基礎・基本を学びました。初めにビデオを見て、画面に拡大して細かな部分を見て、それから実際に体験。ソーイングお助け隊 VER. 2026 の皆様のおかげさまで、ほとんどの子が玉結びと玉止めができるようになりました。



【子供たちの主な感想】

- ・ポラリスの先生方が、すぐにわからないところを教えて下さったので、できるようになりました。
- ・玉結びを、指に巻き付けてねじる感じがわかりました。少し不思議な感じだった。
- ・できないと不安になるけど、先生がたくさんいてくださって心強かった。



【ソーイングお助け隊 VER.2026 の皆様の感想】

- ・最初にビデオを見てから始めたので、教えやすかった。
- ・「楽しい!」という子供たちの声がうれしく、やりがいを感じた。
- ・針の保管の仕方が裁縫箱によって違いがあり、子供たちに扱いにくいケースもあった。
- ・針に糸を通す時、時間がかかる場合は糸通しを使うことで時間短縮につながった。
- ・家庭内に、日頃から「裁縫」があるかないかで差が出るを感じる。
- ・コツをつかんだら、あっという間にできるようになっていた。
- ・授業中の子供たちの集中力に驚いた。
- ・左利きのお子さんへの対応を考えなければならない。
- ・以前、マンションの雪かきを手伝ってくれた子に再会でき、うれしかった。
- ・保育園時代の教え子に教えることができ、成長を感じてうれしかった。

【学年の先生方からのコメント】

今回も助けていただきありがとうございました。玉結び・玉止めは、意外とできるようでできない人も多く、今回じっくりと取り組めてよかったです。子供たちは『ちょっと難しそう、でもできた!』という瞬間に、学ぶことの楽しさを心の底から実感するのだと思います。担任一人ではそこに到達させるのに時間と手間がかかります。ポラリスの皆様の、やさしさ、あたたかさなどで、ゆとりあるコミュニケーションの中での授業が、充実した時間になっています。いつもありがとうございます。